



保存版

目の届く  
場所に保管して  
ください。

藍住町 総合

防災

ハザードマップ

ハザードマップの使い方

風水害編

地震編

避難所等一覧

ハザードマップ  
マイタイムライン記入シート

step1

災害ごとの  
危険を知る

step2

防災行動  
を確認

step3

自分の行動  
を考える

早めの  
避難行動



# 目次

● はじめに ..... P.01

● ハザードマップの使い方 ..... P.02 ~ P.04

## 風水害編

● 警戒レベルと避難行動 ..... P.05 ~ P.08

● 風水害について知る ..... P.09

● 高潮について知る ..... P.10

## 地震編

● 地震に備える ..... P.11 ~ P.12

● 地震について知る ..... P.13

● 地震ハザードマップ ..... P.14

● 避難所等一覧 ..... P.15 ~ P.17

● 藍住町ハザードマップ

マイ・タイムライン記入シート ..... 巻末ポケット

## topic

ペットの防災対策 ..... P.03

「浸水ナビ」地点別浸水  
シミュレーション検索システム ..... P.07

走行中に自動車が水没したらどうなる？ ..... P.08

# はじめに

藍住町総合防災ハザードマップ(以下、ハザードマップ)は、身近な地域の災害リスクについて具体的に理解を深め、災害ごとの避難行動を確認し、実際の災害をイメージしながら、自らに適した避難行動やそのタイミングについて考えていただくために作成しました。

いざという時のために、日ごろからご家族はもちろん、ご近所や自主防災組織の方々との身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路などについて話し合っておきましょう。

## WEB版防災ハザードマップも併せてご覧ください！

紙に印刷されたハザードマップは、気軽に広げて見られ、ペンで書き込み、軽いの  
で持ち運べるメリットがあります。しかし、様々な災害種別の区域を見比べたり、自  
宅周辺を拡大して表示させたりするには不向きです。そこで、藍住町WEB版防災  
ハザードマップを作成しました。



見たい河川の  
浸水想定が見られます

避難所をクリックすると  
その場所にジャンプ



# ✓ ハザードマップの使い方

次のステップでチェックすることで、具体的な防災行動を確認することができます。



## step1 知る **ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！**

巻末のポケットに2種類のハザードマップを入れています。

ハザードマップと下のチェックリストを見比べながら、河川や想定の種類ごとの災害リスクをチェックします。

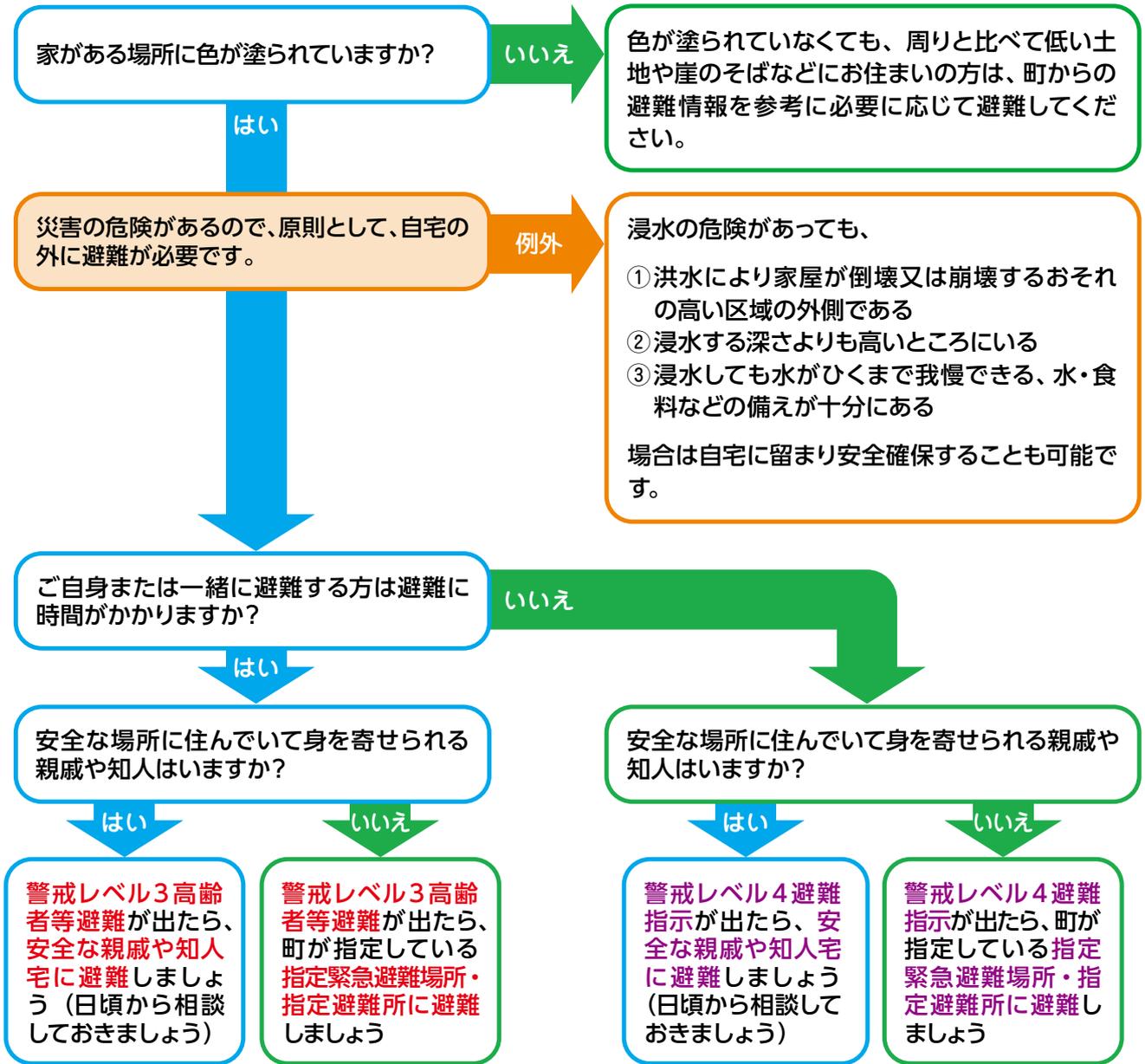
災害の種類		浸水想定区域				家屋倒壊等 氾濫想定区域		
洪水・高潮ハザードマップ	洪水	吉野川 (想定最大規模)	~0.5m  <input type="checkbox"/>	0.5~3.0m  <input type="checkbox"/>	3.0~5.0m  <input type="checkbox"/>	5.0~10.0m  <input type="checkbox"/>	氾濫流  <input type="checkbox"/>	
		吉野川 (計画規模)	~0.5m  <input type="checkbox"/>	0.5~3.0m  <input type="checkbox"/>	3.0~5.0m  <input type="checkbox"/>	5.0~10.0m  <input type="checkbox"/>		
		旧吉野川・今切川・ 宮川内谷川 (想定最大規模)	~0.5m  <input type="checkbox"/>	0.5~3.0m  <input type="checkbox"/>	3.0~5.0m  <input type="checkbox"/>	5.0~10.0m  <input type="checkbox"/>	河岸浸食  <input type="checkbox"/>	
		旧吉野川・今切川・ 宮川内谷川 (計画規模)	~0.5m  <input type="checkbox"/>	0.5~3.0m  <input type="checkbox"/>	3.0~5.0m  <input type="checkbox"/>			
	高潮	高潮浸水想定区域		区域内  <input type="checkbox"/>	区域外 <input type="checkbox"/>			
津波ハザードマップ	津波	津波災害警戒区域	~0.3m  <input type="checkbox"/>	0.3~0.5m  <input type="checkbox"/>	0.5~1.0m  <input type="checkbox"/>	1.0~3.0m  <input type="checkbox"/>	3.0~5.0m  <input type="checkbox"/>	

**step2**  
**確認**

# フローチャートを使って災害時の防災行動を確認しましょう

下のフローチャートや、ハザードマップの情報ページなどを参考にして災害時の防災行動を確認しましょう。

## ハザードマップの見方



### topic ペットの防災対策

#### 災害で想定されるペットの事態

- やけどや、けがなど負傷する。
- 迷子になる。
- 飼い主が飼育できなくなる、または飼い主がいなくなる。
- 同行避難による周囲とのトラブル。
- 飼い主とペットが離ればなれになることによる心理的影響。

#### 日頃から心掛けること

- 預け先を見つけておく。
- ワクチン・予防接種。
- 名札・鑑札をつける。

#### 防災対策チェックシート

- 迷子にならないための首輪
- リード
- 水（ペットボトルに用意）
- フードの買い置き
- キャリーバッグ（またはクレート）
- トイレシート、臭い防止のピックパック、男の子ならマーキングガードなどの生理用品。
- 靴、もしくはハンカチとガムテープなど足先を守るもの。
- タオル
- 薬などの救急セット



**step3**  
**考える**

# マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう

安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを避難指示等の行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。考えがまとまったら巻末ポケットの「マイ・タイムライン記入カード」に書き込みましょう。

	藍住町 ○○地区○○家 吉野川 マイ・タイムライン	作成年月日 年 月 日	
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     黒：気象・防災情報                      青：徳島河川国道事務所                      緑：藍住町                 </div> <p>○台風予報</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     台風に関する徳島県気象情報(随時)                      警戒レベル1                 </div> <p>○大雨注意報・洪水注意報</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     警戒レベル2                 </div> <p>○台風に関する今後の見通し                  ◇大雨警報・洪水警報                  上流域での大雨特別警報</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     記入例                 </div> <p>○台風の今後を調べ始める</p> <p>○1週間分の薬を病院に受け取りに行く</p> <p>○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認</p> <p>④ ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意</p> <p>⑤ ○避難する時に持って行くものを準備する</p> <p>○家族と連絡を取りあう</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期</p> <p><b>POINT ①</b></p> <p>災害の発生時点を「ゼロ・アワー」と定めます。「ゼロ・アワー」から時間を遡り、個々の防災行動を実施するタイミングと防災行動に必要な時間を整理していきます。</p> <p><b>POINT ②</b></p> <p>地域のハザードマップやタイムラインなどを確認し、どのタイミングでどのような情報が得られるのかを整理します。なお、河川水位は、突然上昇することもありますので、継続的に河川水位に注意しましょう。</p> <p><b>POINT ③</b></p> <p>事前準備、避難開始までの行動、身の安全の確保という流れで、それぞれの時期に行う内容を検討します。</p> <p><b>POINT ④</b></p> <p>防災気象情報をどのように得るのか、あらかじめ取得方法を確認しておきます。</p> <p><b>POINT ⑤</b></p> <p>災害後に避難生活がつづくことも想定し、事前の備えをしておきます。</p> <p><b>POINT ⑥</b></p> <p>災害情報と照らし合わせ、避難を開始するタイミングを明確にしておきます。</p>
2 3 日前			
1 日前			
-16h	<p>水防団待機水位到達</p>	<p>○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める</p> <p>○携帯電話の充電</p> <p>○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認</p> <p>○川の水位を調べ始める</p>	
-11h	<p>氾濫注意水位到達</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     洪水予報(氾濫注意情報)発表                 </div> <p>○避難所の開設                  ◇暴風警報</p>	<p>○高齢者等避難に時間がかかる人は避難を始める。</p> <p>⑥ ○その他の人は避難できるよう準備する</p>	
-9h	<p>避難判断水位到達</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     警戒レベル3相当                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     洪水予報(氾濫警戒情報)発表                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     高齢者等避難を発令                 </div>	<p>○携帯メール等で避難指示を受信</p> <p>○安全なところへ避難する</p>	
-7h	<p>氾濫危険水位到達</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     警戒レベル4相当                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     洪水予報(氾濫危険情報)発表                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     緊急速報メール(氾濫のおそれがある情報)                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     避難指示を発令                 </div>	<p>○命を守る最善の行動をとる</p>	
-6h	<p>氾濫が発生</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     警戒レベル5相当                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     洪水予報(氾濫発生情報)発表                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     緊急速報メール(氾濫が発生した情報)                 </div>	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">身の安全を確保すべき時期</p>	
-0h			

# ！ 警戒レベルと避難行動〔自分の命は自分で守る〕

町から高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）等が発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁より警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくても危険度分布を用いて自ら避難の判断をしてください。



キキクル  
(危険度分布)

キキクル 🔍

## 警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	町からの避難情報	相当する警戒レベル	気象庁などの情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※ 必ず発令される情報ではない	5相当	キキクル (危険度分布) 氾濫発生情報
《 警戒レベル4までに必ず避難！ 》					
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	4相当	※1 極めて危険 氾濫危険情報 非常に危険
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は速やかに避難 高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	3相当	警戒（警戒級） 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		2相当	注意（注意報級） 氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める			

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき作成

※1 「極めて危険」（濃い紫）が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

## 町から発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

### 高齢者等避難 (警戒レベル3)

高齢者等避難が発令された際には、高齢者や障がい者等の避難に時間のかかる方や避難行動要支援者は危険な場所から避難を開始する。

その他の人は避難の準備を整えるとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始することが望ましい。

### 避難指示 (警戒レベル4)

避難指示が発令された際には、河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、安全な親戚や知人宅、開設された指定避難所などの安全な場所へ速やかに避難する必要があります。

### 緊急安全確保 (警戒レベル5)

既に災害が発生している状況であり、高台へ逃げたり、垂直（階上）避難をするなど、命を守る行動をとる。

なお、緊急安全確保は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意する。

## 平時(日ごろの備え)

### ▶ 避難経路の確認

ハザードマップでお住まいの地域などの災害リスクを確認しましょう。

避難先は町が開設する避難所だけでなく安全な親戚や知人宅への避難も日ごろから相談しておきましょう。



### ▶ 家の周りを点検・整備

雨水の排水溝などは水がたまらないように清掃をこまめにしましょう。



### ▶ 防災訓練に参加しましょう

もし今、災害が発生したら…いざという時、より冷静に行動できるように、防災訓練などに積極的に参加しましょう。



### ▶ 非常持ち出し品を準備しておきましょう

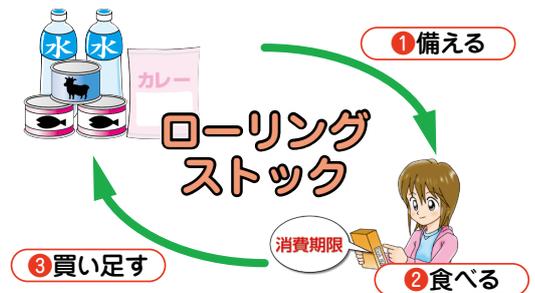
避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空くリュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。重さの目安は、男性 15kg、女性 10kg です。

### ■ 非常持ち出し品リスト

食料品など	衣類など	貴重品	日用品・安全対策・その他
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食 	<input type="checkbox"/> 下着・上着 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯みがきセット <input type="checkbox"/> マスク 	<input type="checkbox"/> 貯金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 現金 	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 食品用ラップ 

### ▶ 家庭での備蓄品

各家庭で最低3日間、できれば1週間過ごせるよう、飲料水(1人1日3リットル)、食料等を備蓄しておきましょう。保存期間の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費、使った分を買い足す「ローリング・ストック方式」も効果的です。また、カセットコンロや下着、トイレトーパー、携帯トイレ等も備蓄してあるといざというときに役に立ちます。



### 家庭備蓄の例 (1週間分 / 大人2人の場合)

必需品	主食 <small>エネルギー 炭水化物</small>	主菜 <small>たんぱく質</small>	副菜・その他
<b>水 2L×6本×4箱</b> <small>※1人1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)</small> 	<b>米 2kg×2袋</b> <small>※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)</small> <b>乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ)</b> <small>・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋)</small> 	<b>レトルト食品</b> <small>・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個</small> 	<b>日持ちする野菜類</b> <small>・たまねぎ、じゃがいも等</small> <b>調味料</b> <small>・お好みのもの</small> <b>梅干、のり、乾燥わかめ等</b> <b>野菜ジュース、果物缶詰等</b> <b>即席スープ等</b> 
<b>カセットコンロ・カセットボンベ×12本</b> <small>※1人1週間およそ6本程度</small> 	<b>カップ麺類×6袋</b> <b>パックご飯×6袋</b> <b>その他(適宜)</b> <small>・ロングライフ牛乳 ・シリアルなど</small> 	<b>缶詰(肉・魚)</b> <small>・お好みのもの18個</small> 	

台風や集中豪雨の場合は、地震などとは違い毎年同じ時期に同じような現象を繰り返します。TV、データ放送、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報をこまめにチェックし、避難の必要がある場合は速やかに避難しましょう。

防災行政無線 テレホンサービス

防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい場合は、  
テレホンサービスをご利用ください。

すぐ みなひなん  
**0120-49-3717**

災害情報

徳島県「あんしん徳島」

<https://anshin.pref.tokushima.jp/>  
洪水、土砂災害、地震、津波などの  
の情報が入手できます。



洪水警報の危険度

気象庁「洪水警報の危険度分布」

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>  
洪水時の危険度の分布情報が  
入手できます。



河川映像・水位情報

国土交通省「川の防災マルチモニタ」

<https://www.river.go.jp/portal/#80>  
吉野川のライブ映像、水位情報  
が入手できます。



topic 「浸水ナビ」地点別

浸水シミュレーション検索システム

「浸水ナビ」を使うと、どの河川のどこの地点が決壊（破堤）したら、自宅や会社などが浸水するのかわかります。また、堤防決壊後の浸水の広がり方をアニメーションで見ることができます。これらの情報により、堤防が決壊（破堤）した場合、どのくらい浸水するのか、何時間で浸水が始まるのか、何日で水が引くのか、などをイメージすることができます。



0分後



20分後



40分後

**警戒レベル3**

**「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者等、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始**

**▶ 高齢者等の避難に協力**

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。

特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんから気配りが必要です。



**▶ その他の人は避難の準備！**

**警戒レベル4**

**「避難指示」が発令された危険な場所にいる人などは全員避難**

避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出すら危険な場合には屋内で安全を確保してください。

**履物に注意しましょう！**

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

**▶ 複数で避難・隣近所に声をかけましょう！**

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



**危険な場所は避けて避難しましょう！**

ガード下や、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。

**▶ 車での避難は控えましょう！**

自動車での避難は緊急車両の妨げとなりますので、特別の場合を除きやめましょう。



**歩ける深さに注意しましょう！**

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさが腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

**警戒レベル5**

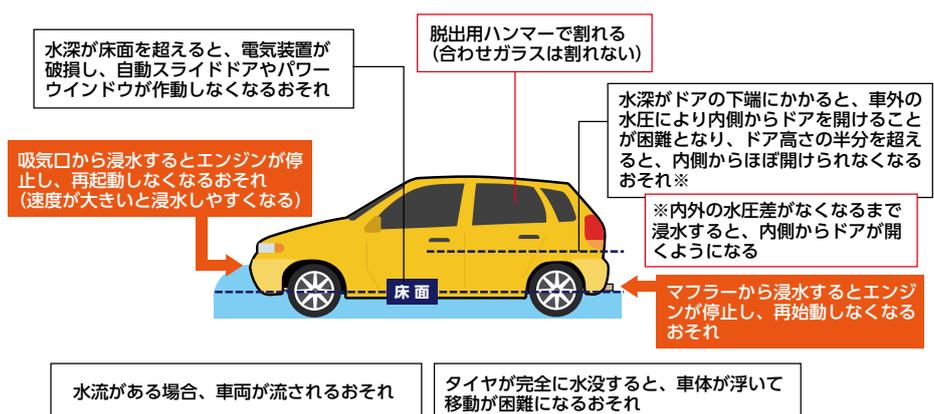
**命の危険直ちに安全確保！** ※災害が発生した場合に必ず発令されるものではありません

既に災害が発生している状況であり、命を守る最善の行動をとりましょう。

**topic 走行中に自動車が水没したらどうなる？**

令和元年の台風19号等による大雨においては、自動車が水没する等により、運転者や同乗者が亡くなる事故が相次ぎました。

自動車は、エンジンやモーターで駆動し、電気装置により制御されているため、水深が車両の床面を越えて車内へ浸水すると、様々な不具合が発生するおそれがあり、最悪の場合、エンジンやモーターが停止して移動できなくなります。また、水深がドアの下端にかかると、車外の水圧により内側からドアを開けることが困難となり、ドア高さの半分を超えると、内側からほぼ開けられなくなります。



# 風水害について知る

水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。日本では、毎年、梅雨期の大雨や台風などにより、平年の一ヶ月の雨量を超えるような雨が短時間で降ったり、台風により激しい雨をもたらすと河川の急激な増水により社会生活に大きな影響を及ぼす河川の氾濫や山崩れなどの災害が発生しています。

## ▶ 雨の強さと降り方

### 雨の強さと降り方(1時間雨量)

※ゲリラ豪雨等により20mm~30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

#### 10~20mm やや強い雨



地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

#### 20~30mm 強い雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、崖崩れの心配もあります。

#### 30~50mm 激しい雨



バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

#### 50~80mm 非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。

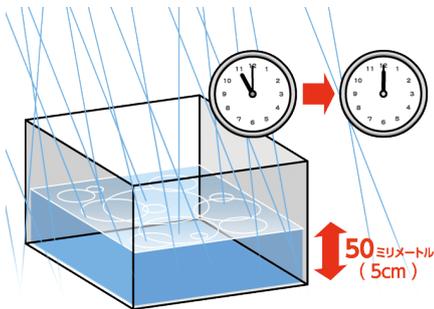
#### 80mm以上 猛烈な雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

## 1時間に50mmの雨とは

テレビの気象情報などを見ていると「1時間に〇〇ミリの大雨が…」と説明しているのを良く聞きますが、実際にイメージしにくいと思います。では1時間50ミリの雨とはどの程度の雨なのでしょう。



「1時間に50ミリの雨」というのは雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50mmの高さまでたまる」規模の雨です。



傘を開いたときの面積が概ね1平方メートルで、1時間傘を差していると、傘には牛乳パック50本分の雨があたることになります。



まわりの雨水があつまると・・・

## 内水氾濫と外水氾濫

降った雨を排水処理できず、建物や土地・道路が水に浸かってしまうことを内水氾濫といいます。外水氾濫と比べて、浸水規模は小さいですが、いたるところで発生しやすい特徴があります。

外水氾濫は、河川の堤防から水が溢れ又は破堤して、家屋や田畑が浸水することをいいます。外水氾濫が発生すると広い範囲が浸水して、大きな被害が発生する恐れがあるので特に注意が必要です。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲い掛かります。

# 高潮について知る

## 過去の主な高潮災害

台風が海岸に接近したり上陸するときには、気圧が低いために海面が吸い上げられ異常に上昇し、沖合いから沿岸に向かって吹く暴風とともに海水が陸地に押し寄せます。この現象を高潮と言います。高潮が満潮時と重なると陸地への被害は一層大きくなります。

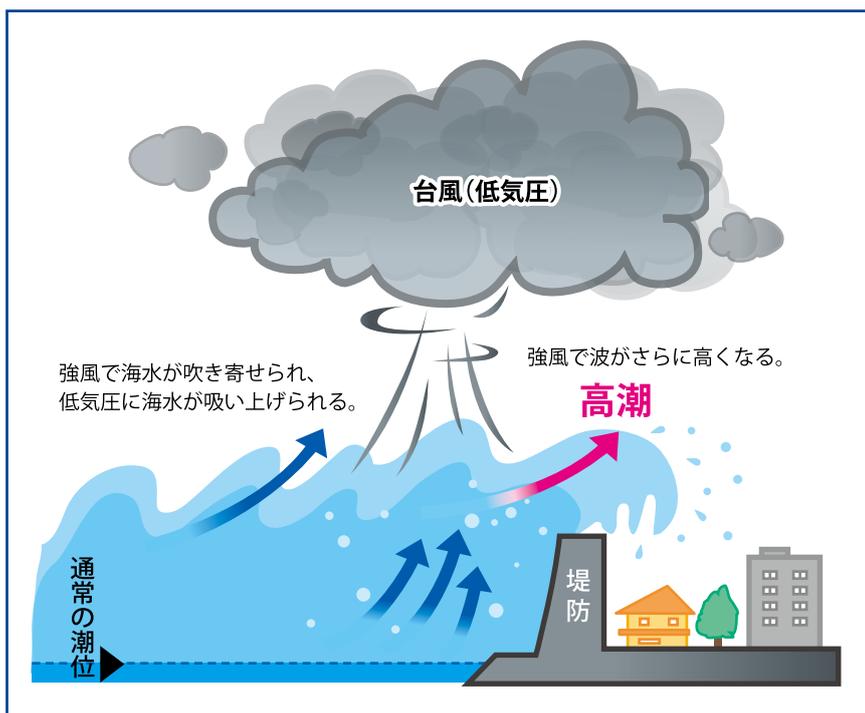
わが国では、これまで幾度となく高潮被害が発生しています。昭和9年の室戸台風では、上陸時の中心気圧が観測史上最低の911hPaを記録し、3,000人を超える犠牲者を出しました。

徳島県では、昭和36年の第二室戸台風により過去最高の潮位 (T.P.+2.42m)、死者・行方不明者11人、全壊・半壊2,399戸の被害がありました。

年月日	主な原因	徳島県			
		最高潮位 (T.P.m)	最大偏差 (m)	死者・行方不明(人)	全壊・半壊(戸)
昭 9. 9. 21	室戸台風	—	—	39	2,258
昭 20. 9. 17	枕崎台風	—	—	47	2,583
昭 25. 9. 3	ジェーン台風	—	—	38	2,674
昭 26. 10. 14	ルース台風	—	—	10	1,743
昭 28. 9. 25	台風13号	—	—	1	91
昭 34. 9. 27	伊勢湾台風	0.93	0.53	5	63
昭 36. 9. 16	第二室戸台風	2.42	1.80	11	2,399
昭 45. 8. 21	台風10号	1.21	0.55	8	66
昭 60. 8. 30	台風13号	0.83	0.04	—	—
平 11. 9. 24	台風18号	1.06	0.31	—	—
平 16. 8. 30	台風16号	1.66	0.72	—	9
平 16. 10. 20	台風23号	1.55	1.13	3	239
平 30. 9. 4	台風21号	1.68	1.22	—	2

徳島県「高潮浸水想定区域図について（解説書）」より作成

## 高潮発生メカニズム



### 低気圧による吸い上げ

台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

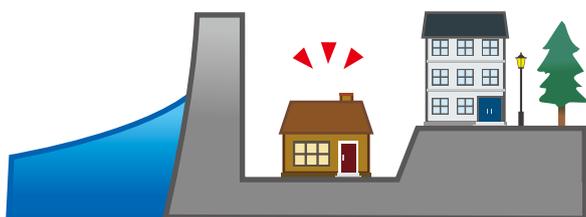
### 風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ海面が上昇します。潮位の上昇は風速の2乗に比例します。風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。

また、台風接近に伴い風で大きな波も発生して、海面がさらに高くなります。

## 高潮の危険なところ

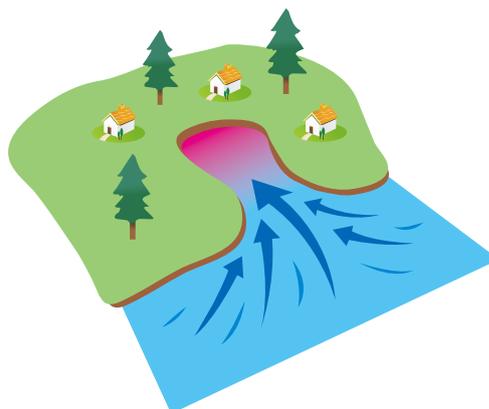
### ▶ 海岸付近の低平地



ゼロメートル地帯など海岸付近の低地では、高潮による浸水被害を被る危険性が高くなります。

### ▶ 湾奥部

海水が湾奥に集まるので湾内の水位が上がります。





## 地震に備える

### 地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところへ移動」、「より安全なところへ避難」。

**地震発生**

1~2分



3分



5分



10分

数時間

3日

### 最初の大きな揺れは約2~3分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ちていて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦等の転落やブロック塀・自動販売機等の転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に  
声をかけよう

- 災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。
- 行方不明者はいないか。 ●けが人はいないか。

出火防止  
初期消火

- 初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。
- 漏電・ガス漏れに注意。 ●電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を閉める。

### 協力して消火活動、救出・救護活動

- 大声で知らせる。 ●救出・救護をする。
- デマにまどわされないようにする。
- 避難時に車は極力使わない。 ●電話は緊急連絡を優先する。



### ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。  
3日間の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。 ●無理はやめよう。
- 助け合いの心が大切。 ●壊れた家に入らない。



### 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震が発生してから強い揺れが襲来するまでのごく短い時間を活用して、地震による被害を軽減しようとする情報です。緊急地震速報が鳴ったら「周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する。」

気象庁は、最大震度5弱以上が予想された場合で、震度4以上の揺れが予想される地域に対して緊急地震速報（警報）を発表します。地震速報は、以下の方法などで専用の報知音とともに伝えられます。



テレビ



携帯電話・スマホ



防災行政無線

震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。

## 身の回りの耐震対策

### 住まいの耐震対策

藍住町では、地震に対する住宅の安全性の向上と人的被害、経済的被害を軽減することを目的に、住宅所有者が耐震診断並びに耐震改修工事を行う場合に、また感震ブレーカーの設置や家具転倒防止の取付についても、その費用の一部を補助します。

**お問合せ先**

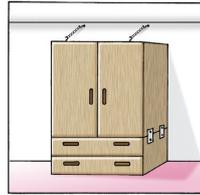
**藍住町役場**

**TEL 088-637-3111**

### 家具の転倒防止対策

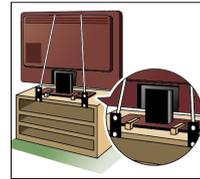
#### タンス・本棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



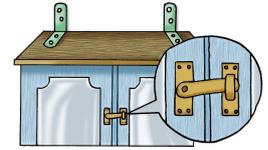
#### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上は避ける)。



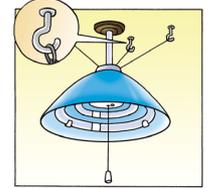
#### 食器棚

L字金具や鎖・ベルトなどで固定する。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



#### 照明器具

チェーンと金具を使って数ヶ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。

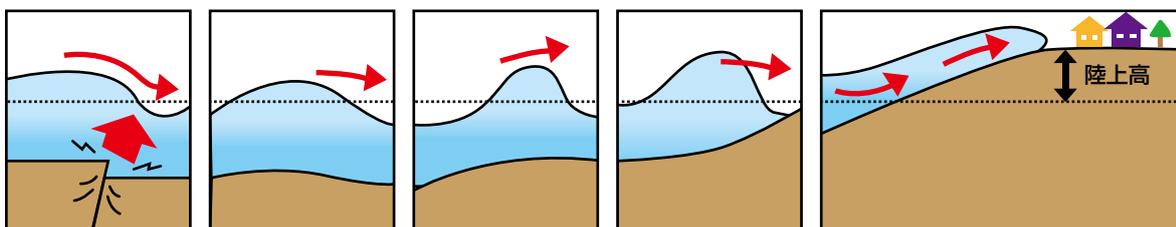


## 地震の揺れと想定される被害

震度	5弱	5強	
人の体感・行動	<p>大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</p>	<p>大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</p>	
屋内・屋外の状況	<p>つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。道路に被害が生じることも。</p>	<p>棚にある食器類や書棚の本で、落ちる物が多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることも。窓ガラスが割れて落ちたり、補強されていないブロック塀が崩れたり、据付不十分な自動販売機が倒れることがある。車の運転は困難。</p>	
震度	6弱	6強	7
人の体感・行動	<p>立っていることが困難になる。</p>	<p>立っていることができず、はわなないと動くことができない。</p>	<p>揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることがある。</p>
屋内・屋外の状況	<p>固定していない家具の大半が移動。倒れるものもあり、ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物がさらに多くなる。</p>

## 津波はどのように襲ってくるのか

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。



①地震による海底面の隆起沈降が、海水の上下変動を起こす。

②波となって四方に伝わる。

③水深が浅くなるに従って波が高くなる。

④さらに海底の地形の影響で波が高くなる。

⑤陸上へ打ち上げる。



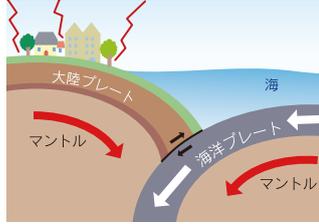
# 地震について知る

藍住町で予測される地震は海溝型地震(南海トラフ地震)と内陸型地震(中央構造線活断層地震)があります。前回の南海トラフ地震(昭和東南海地震(1944年)及び昭和南海地震(1946年))が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。

## 海溝型地震

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んでいるために定期的に大陸プレートが跳ね上がって起こる地震

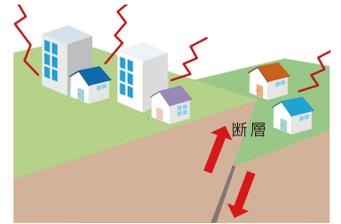
- 揺れている時間が長い。(1分以上続く場合もある。)
- 大津波が襲ってくる危険性がある。
- 短くて数十年から100年単位の間隔で発生する。



## 内陸直下型地震

陸域の比較的地下の浅いところ(ユーラシアプレートの内部)で活断層がずれて起こる地震

- 揺れている時間が相対的に短い。
- 都市直下で起こる危険性がある。
- 千年~1万年程度の間隔で発生する。



### ▶ 地震は一度では終わらないかも?



#### 過去事例

1854年 安政東海地震 M8.6

↓ 約32時間後…

1854年 安政南海地震 M8.7

1944年 昭和東南海地震 M8.2

↓ 約2年後…

1946年 昭和南海地震 M8.4

南海トラフ巨大地震の想定震源域

※Mはモーメントマグニチュード

※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。

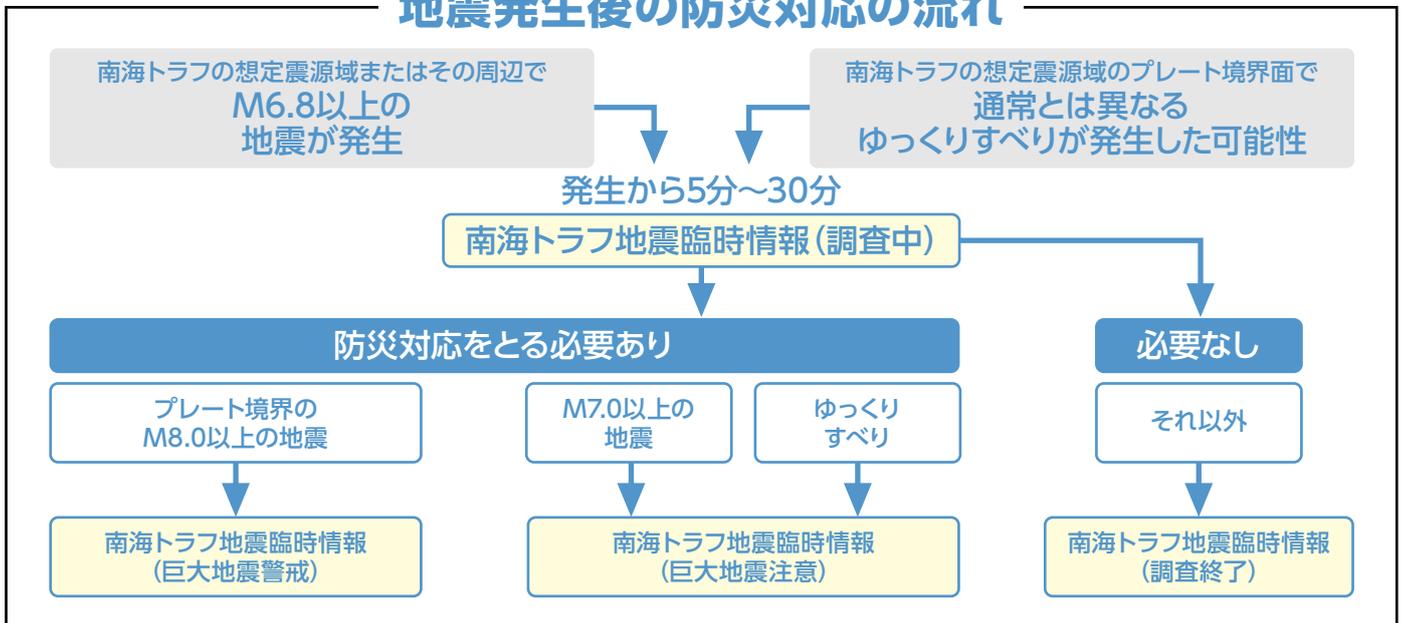
## 南海トラフ地震臨時情報

南海トラフでは、過去に32時間後や約2年後に時間差で大規模な地震が発生したことがあり、時間差で発生する大規模な地震に備える必要があります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁より発表されます。

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、日ごろからの地震の備えを再確認しましょう。

## 地震発生後の防災対応の流れ



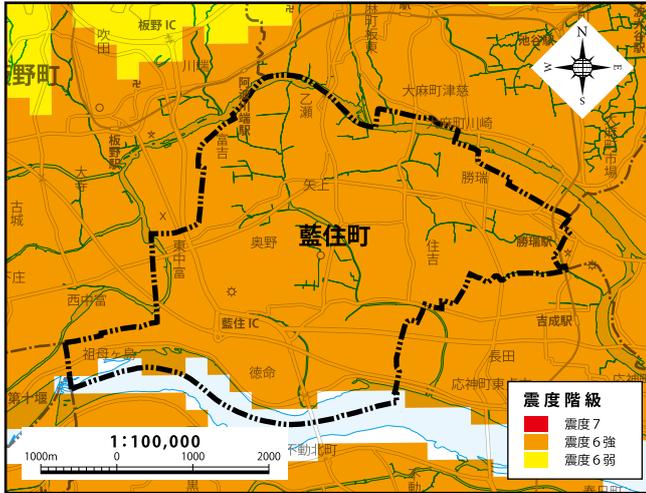
※「南海トラフ地震—その時の備え—」(内閣府気象庁)より作成



# 地震ハザードマップ

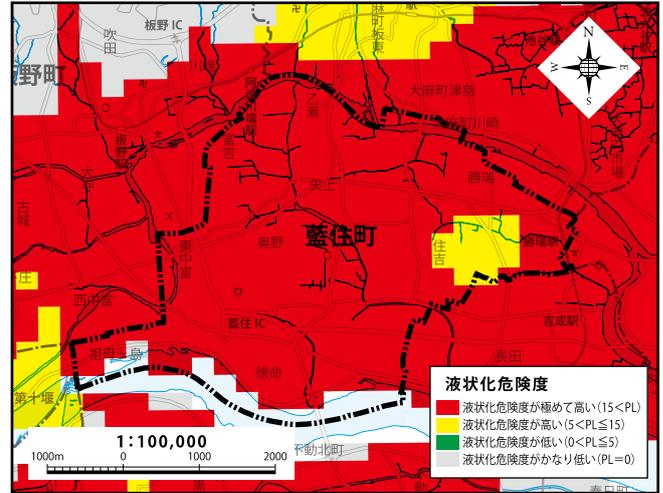
## 南海トラフ地震 震度分布図・液状化危険度分布図

### ■ 藍住町震度分布図(南海トラフ地震)



地震による揺れの強さは、地震の規模、断層からの距離に加えて、地盤の柔らかさやその厚さなどによって大きく変わります。藍住町は土や砂が厚く堆積した場所が多く、地震の揺れが増幅しやすい傾向にあります。

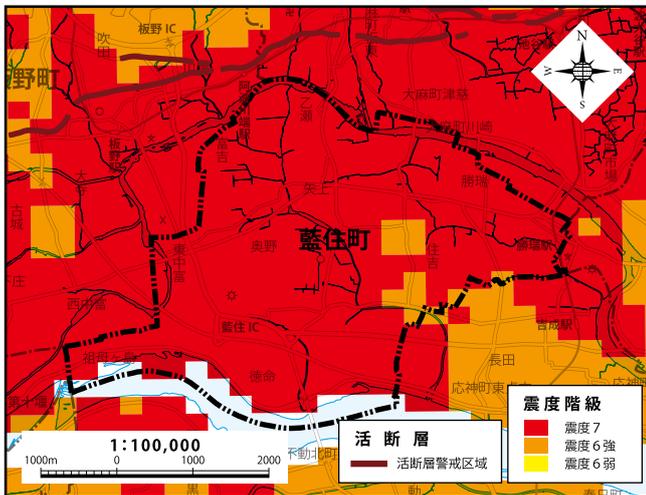
### ■ 藍住町液状化危険度分布図(南海トラフ地震)



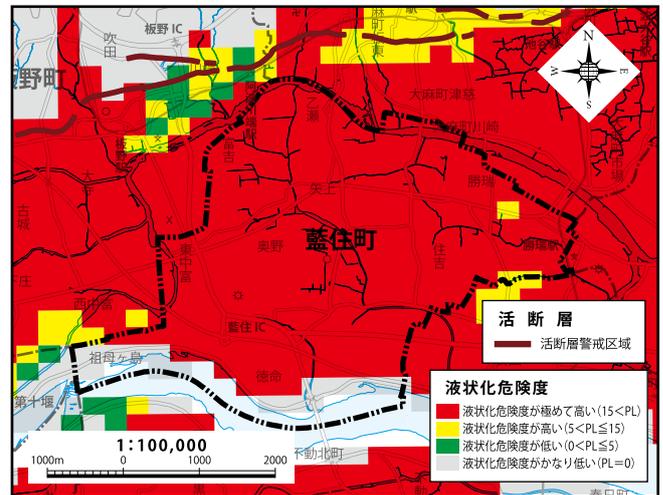
液状化とは地震の揺れる振動によって地盤が液体状になることです。これによって地盤を失った建物が倒れたり、砂交じりの水が地表に噴出したりします。

## 中央構造線断層地震 震度分布図・液状化危険度分布図

### ■ 藍住町震度分布図(中央構造線断層地震)

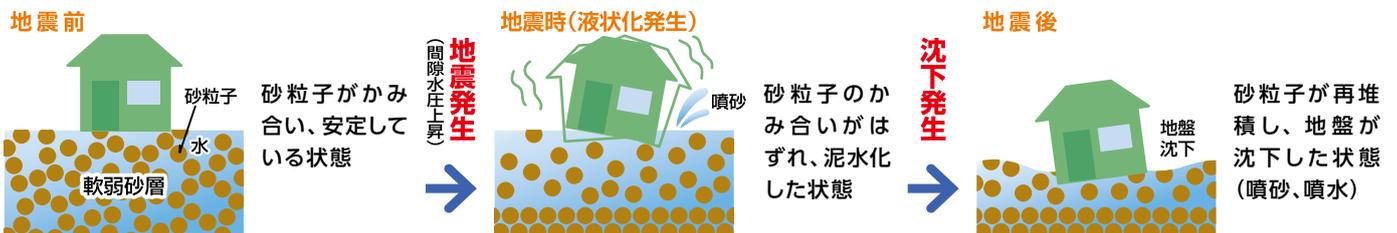


### ■ 藍住町液状化危険度分布図(中央構造線断層地震)



## 液状化のメカニズム

液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象で、地盤の上の建物を傾かせたり沈ませたりします。



# 避難所等一覧

## 避難所の開設方法

避難指示等の発令により開設する避難所は、その時の状況に応じて発令対象区域内の避難所の中から町が選定し開設します。

避難指示等の発令と同時に、開設した避難所名をお知らせしますので、その場所へ避難してください。また避難される際は可能な範囲で食料等をご持参ください。

避難指示等が発令される前に自主避難される場合は、事前に藍住町役場（088-637-3111、088-692-2023）で避難所の開設状況をご確認ください。

なお、豪雨等で避難所への移動が困難である場合は、屋内の2階以上や近隣の高い堅牢な建物内で身の安全を確保してください。

●避難所について 『町内の避難所は次のとおりです。災害の状況・規模等により開設する避難所を決定します。』

	名称	所在地	対応地区	指定避難所	指定緊急避難場所	洪水	地震	津波	大規模な火事	内水氾濫
1	藍住中学校	奥野字矢上前18-1	A	○	○	○	○	○	○	○
2	藍住東中学校	住吉字若宮49-1	E	○	○	○	○	○	○	○
3	藍住東小学校	勝瑞字成長155-1	F	○	○	○	○	○	○	○
4	藍住北小学校	住吉字乾1	D	○	○	○	○	○	○	○
5	藍住南小学校	奥野字和田95	B	○	○	○	○	○	○	○
6	藍住西小学校	富吉字豊吉55-1	C	○	○	○	○	○	○	○
7	藍住町町民体育館	奥野字矢上前18-1	A	○	○	○	○	○		○
8	藍住町勤労女性センター	奥野字矢上前32-1			○	○				○
9	勝瑞城館跡公園	勝瑞字東勝地61-1			○		○	○	○	
10	ゆめタウン徳島	奥野字東中須88-1			○	○	○	○		○
11	徳島県立徳島北高等学校	徳島市応神町吉成字中ノ瀬40-6			○			○		

## 指定緊急避難場所とは

「指定緊急避難場所」は、津波、洪水等、災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものです。



地震や大規模な火災等の場合、危険が及ばない学校のグラウンドや運動場が指定されます。

## 指定避難所とは

「指定避難所」は、災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。



学校・体育館等の施設

## 福祉避難所

福祉避難所とは、要配慮者（主として高齢者、障がいのある人、乳幼児その他の特に配慮を要する者）のための避難所のことであり一般の避難所では生活することが困難な要配慮者が、避難所での生活において特別な配慮が受けられるなど、要配慮者の状態に応じて安心して生活ができる体制が整備された施設です。

	名称	所在地
1	福祉ホームリズム	矢上字安任56-5
2	地域密着型介護老人福祉施設 花どけい	矢上字原127-1
3	特別養護老人ホーム 藍寿苑	富吉字穂実69-3
4	小規模多機能ホーム 藍住の家	矢上字安任175-5
5	藍住町総合文化ホール	奥野字矢上前32-1
6	藍住町立中央保育所	奥野字矢上前41-3



# 要配慮者利用施設一覧

要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を必要とする人が利用する施設のことです。

	名称	所在地		名称	所在地
1	清水内科	奥野字和田71-13	33	藍住東小学校	勝瑞字成長155-1
	清水内科介護医療院		34	藍住西小学校	富吉字豊吉55-1
2	中山産婦人科	東中富字長江傍示5-6	35	藍住南小学校	奥野字和田95
	あいあいキッズ		36	藍住北小学校	住吉字乾1
3	森本医院	勝瑞字成長62	37	藍住東幼稚園	勝瑞字成長65
	デイケア勝瑞苑		38	藍住西幼稚園	富吉字地神79
4	稲次病院	笠木字西野50-1	39	藍住南幼稚園	奥野字猪熊89-1
5	浜病院	矢上字北分95	40	藍住北幼稚園	住吉字乾1
6	矢野医院	矢上字西160-102	41	すみれ・あいずみ作業所	奥野字矢上前151-1
7	ソーレ・インターナショナル保育園 藍住園	奥野字猪熊67-2	42	れもんキッズ 藍住	奥野字長江口77-1
8	藍住南ひまわり保育園	奥野字乾104	43	障害者福祉サービス事業所 クローバー	奥野字原223-1
9	藍住町立中央保育所	奥野字矢上前41-3	44	オレンジノート	東中富字西安永133-59
10	ア・リトルミー保育ルーム 藍住園	奥野字矢上前134-50	45	きりん教室 あいずみ	東中富字龍池傍示52-6
11	奥野児童館	奥野字原27-1	46	放課後等デイサービスいつもここからⅡ	東中富字敷地傍示5-4
	奥野児童クラブ		47	放課後等デイサービスいつもここから 民家型デイサービス いつもここから	東中富字敷地傍示50-1
	第2奥野児童クラブ			48	ミン ト
12	エンゼルハウス	奥野字原57	49	放課後等デイサービスいつもここからⅢ	勝瑞字西地93-4
13	あいずみ保育園	東中富字龍池傍示44-1	50	共同生活援助 しょうずい	勝瑞字東勝地346-5
14	藍住あおば保育園	東中富字長江傍示55	51	ギフテッド 藍住	住吉字藤/木82-6
15	東中富児童館	東中富字西傍示33-2	52	青い葉 藍住	矢上字江/口46-1
16	藍住ゆめあい保育園	徳命字元村東121-3	53	福祉ホームリズム	矢上字安任56-5
17	徳命児童館	徳命字中/丁152-2		就労支援センターハーモニー	
18	ひなた保育園	徳命字新居須73-1	54	障がい者デイセンター 凌雲	矢上字安任156-1
	富吉児童館	富吉字大向5-1		こどもリハスタジオ メロディー	
富吉児童クラブ	ケアハウスサンガーデン 凌雲				
19	富吉児童館	富吉字大向5-1	55	キッズステーション テレサ	矢上字原127-2
20	富吉児童クラブ	富吉字穂実71-1		ケアハウス 矢上	
21	あいあい保育園	富吉字穂実71-1	56	ライフ・サポート	乙瀬字青木10-6
22	藍住ひまわり保育園	勝瑞字西勝地285-1	57	グループホーム 樹園	奥野字猪熊91-4
23	勝瑞児童館	勝瑞字成長70-5	58	デイサービス かるがも苑	奥野字乾40-3
	勝瑞児童クラブ		59	デイケアセンター つどい	奥野字長江口70-7
24	社会医療法人 凌雲会 ちびっこ園	笠木字西野6-3	60	デイサービス 二輪草	東中富字権現傍示51-1
25	住吉児童館	住吉字神蔵78	61	有料老人ホーム 高齢者サポートハウス まごの手	東中富字拙傍示15-6
	住吉児童クラブ			サービス付き高齢者向け住宅 アルザ ス・ロレーヌ 虹の橋	東中富字拙傍示54-3
26	第2住吉児童クラブ	住吉字神蔵171-13	62	デイサービス コルマール	東中富字北傍示45-5
27	ニチイキッズ あいずみ北保育園	住吉字逆藤7-4		サービス付き高齢者向け住宅 いつでもここから	
28	ニチイキッズ あいずみさかふじ保育園	住吉字逆藤7-4	63	サービス付き高齢者向け住宅 いつでもここから	東中富字慶長47-1
29	セサミ 藍住園	住吉字藤/木85-15	64	デイサービス 優樹	
30	認可保育園 おひさま	住吉字江端8-1			
31	江ノ口児童館	矢上字江/口80-1			
32	西部児童館	矢上字北分17-1			
	西部児童クラブ				
33	藍住中学校	奥野字矢上前18-1			
34	藍住東中学校	住吉字若宮49-1			

避難所等一覧

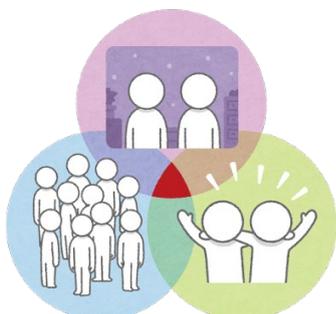
	名称	所在地		名称	所在地
65	地域密着型デイサービス歩の華	徳命字元村112-6	81	デイサービスセンターかのん	住吉字藤/木61-1
66	住宅型有料老人ホーム百華	徳命字元村146-11	82	クリア・デイサービスセンター	住吉字藤/木83-2
67	デイサービスなごや家	徳命字元村146-11		クリア藍住デイサービス	
67	デイセンター日吉丸	徳命字小塚北92-3		RACケアスタジオ藍住	
68	グループホーム藤吉郎	徳命字小塚北92-3	83	有料老人ホームクリア藍住	矢上字安任56-1
	清水内科デイサービスセンター	徳命字新居須64-2		グループホーム親の家	
69	グループホーム碧	徳命字新居須64-2	84	老人保健施設 昂	矢上字安任137-1
	有料老人ホームライフコンシェルジェ徳島	徳命字新居須65-1		介護老人保健施設 昂	
70	デイサービス優	徳命字新居須76-1		デイサービス 昂	
71	イツモ藍住南館	徳命字新居須76-1		ショートステイ 昂	
72	サービスセンターケアビレッジ藍住	徳命字新居須77	85	メディション 凌雲	矢上字安任175-5
72	ケアビレッジ藍住	徳命字新居須77-1		小規模多機能ホーム藍住の家	
73	イツモ藍住	徳命字新居須80-1	86	サービスセンター 蘭方	矢上字春日100-1
	サービスセンター恵藍住		87	有料老人ホーム 蘭方	矢上字春日100-2
74	ライフヴィライース 徳島	富吉字豊吉86-1	88	サービス付き高齢者向け住宅ゆうひな	矢上字北分6-4
	サービス 彩			サービス ゆうひな	
	ショートステイ 彩		89	グループホーム 矢野	矢上字西160-29
75	さわやか徳島デイサービスセンター	富吉字地神60-3	90	地域密着型特別養護老人ホーム花どけい	矢上字原127-1
76	特別養護老人ホーム藍寿苑	富吉字穂実66-3	ショートステイ花どけい		
	サービスセンター藍寿苑		91	グループホーム 矢上	矢上字原129-3
77	サービス付き高齢者向け住宅みどり	勝瑞字西勝地12-1	92	住宅型有料老人ホーム 和	矢上字原190-1
78	グループホーム 成長 苑	勝瑞字成長55-1	93	生活支援ハウス 藍	乙瀬字中田98-20
79	サービス ウェルネスあいずみ	笠木字中野72-1		サービスセンター 藍	
80	デイケア あいそら	住吉字千鳥が浜110-5			

## 新型コロナウイルスの影響下における避難生活

災害発生後に、水害による浸水や地震による津波、家屋倒壊の危険性がない場合は、感染リスクの低い自宅や親戚宅など、「少人数・個別空間」での避難を優先させましょう。

どこに避難する場合であっても、感染症予防や蔓延防止のために一人ひとりが対策を行いましょう。

3密（密閉・密集・密接）を避けましょう



こまめに手洗い・アルコール消毒をしましょう



常にマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。





# 災害時のための連絡MEMO



🏠 **家が被災したときの集合場所** ご家族などで話し合って記入ください。



🏠 **緊急時の連絡先**

相手方	電話番号
	TEL
	TEL

大きな地震が発生すると、電話回線が混み合いつながりにくくなります。災害時は各電話会社が設置する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を利用できます。

## 災害用伝言ダイヤルサービス 171

171  
忘れて **イナイ** と覚えましょう！

伝言の録音

**171▶1▶**  
ガイダンスが流れます。

**被災者-ご自宅-電話番号▶**  
被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言を入れる  
30秒以内

伝言の再生

**171▶2▶**  
ガイダンスが流れます。

**被災者-ご自宅-電話番号▶**  
被災者はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言を聞く

## 緊急連絡先

(消防) 板野東部消防組合・第2消防署

088-692-2424

(警察) 徳島板野警察署藍住町東交番

088-692-3342

(警察) 徳島板野警察署藍住町西交番

088-692-2517

## 藍住町役場

住所 〒771-1292 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52番地1

TEL 088-637-3111

HPアドレス <https://www.town.aizumi.lg.jp/>



## 防災行政無線 テレフォンサービス

防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい場合は、  
テレフォンサービスをご利用ください。



すぐ **みなひなん**  
**0120-49-3717**